

【高齢者虐待発見チェックリスト】

ちょっとおかしいなという異変を感じたら活用しましょう。

身体的虐待

- 身体に小さなキズが頻繁にみられる。
- 太腿の内側や上腕部の内側、背中等にキズやみみずばれがみられる。
- 回復状態が様々な段階のキズ、あざ等がある。
- 頭、顔、頭皮等にキズがある。
- 臀部や手のひら、背中等に火傷や火傷痕がある。
- 急に怯えたり、恐ろしがったりする。
- 「怖いから家にいたくない」等の訴えがある。
- キズやあざの説明のつじつまが合わない。
- 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることを躊躇する。
- 主治医や保健、福祉の担当者に話す内容が変化し、つじつまがあわない。

心理的虐待

- かきむしり、噛み付き、ゆすり等がみられる。
- 不規則な睡眠(悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等)を訴える。
- 身体を委縮させる。
- 怯える、わめく、泣く、叫ぶ等の症状がみられる。
- 食欲の変化が激しく、摂取障害(過食、拒食)がみられる。
- 自傷行為がみられる。
- 無力感、あきらめ、投げやりな様子になる。
- 体重が不自然に増えたり、減ったりする。

性的虐待

- 不自然な歩行や座位を保つことが困難になる。
- 肛門や性器から出血やキズがみられる。
- 生殖器の痛み、かゆみを訴える。
- 急に怯えたり、恐ろしがったりする。
- ひと目を避けるようになり、多くの時間を1人で過ごすことが増える。
- 主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する。
- 睡眠障害がある。
- 通常的生活行動に不自然な変化がみられる。

経済的虐待

- 年金や財産収入等があることは明白なのにもかかわらず、お金がないと訴える。
- 自由に使えるお金がないと訴える。
- 経済的に困っていないのに、利用負担のあるサービスを利用したがない。
- お金があるのにサービスの利用料や生活費の支払いができない。
- 資産の保有状況と衣食住等生活状況との落差が激しくなる。
- 預貯金が知らないうちに引き出された、通帳がとられたと訴える。

介護・世話の放棄・放任(ネグレクト)

- 居住部屋、住居が極めて非衛生的になっている、また異臭を放っている。
- 部屋に衣類やおむつ等が散乱している。
- 寝具や衣服が汚れたままの場合が多くなる。
- 汚れたままの下着を身に着けるようになる。
- かなりのじょくそう(褥瘡)ができています。
- 身体からかなりの異臭がするようになってきている。
- 適度な食事が準備されていない。
- 不自然に空腹を訴える場面が増えてきている。
- 栄養失調の状態にある。
- 疾患の症状が明白にもかかわらず、医師の診察を受けていない。

セルフネグレクト(自己放任)

- 昼間でも雨戸が閉まっている。
- 電気・ガス・水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納したりしている。
- 配食サービス等の食事がとられていない。
- 薬や届けた物が放置されている。
- ものごとや自分の周囲に関して、極度に無関心である。
- 何を聞いても「いいよ、いいよ」と言って遠慮をし、あきらめの態度がみられる。
- 室内や住居の外にゴミがあふれていたり、異臭がしたり、虫が湧いている状態である。

養護者の態度にみられるサイン

- 高齢者に対して冷淡な態度や無関心さがみられる。
- 高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言がしばしばみられる。
- 他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがみられる。
- 高齢者の健康や疾患に関心がなく、医師への受診や入院の勧めを拒否する。
- 高齢者に対して過度に乱暴な口のきき方をする。
- 経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしない。
- 保健、福祉の担当者と会うのを嫌うようになる。

地域からのサイン

- 自宅から、高齢者や介護者・家族の怒鳴り声や悲鳴・うめき声、物が投げられる音が聞こえる。
- 庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相(雑草が生い茂る、壁のペンキがはげている、ゴミが捨て去られている)を示している。
- 郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や新聞で一杯になっていたり、電気メーターがまわっていない。
- 気候や天気が悪くても、高齢者が長時間外にいる姿がしばしばみられる。
- 家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等で、一人分のお弁当などを買っている。
- 近所づきあいがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられる。
- 高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる。

参考：東京都高齢者虐待対応マニュアル